

2025 年度 一般型入試 第 I 期

地理総合 解答用紙

受験番号

【I】

問1： A 問2： A 問3： 山形県 問4： 尾根

問5： ウ 問6： エ

問7： (ハイマツは気温の低い地域で生育する樹木である。高緯度に位置する北海道では本州よりも平均気温が低いため低地でもハイマツが生育する点を説明できているかを評価した。)

問8： ア

問9： (火山である蔵王山が噴火した後、噴火口に雨水が溜まってできた火口湖であるという説明ができていないかを評価した。)

【II】

問10： エ 問11： (a) 愛知県 , (b) 群馬県

問12： ア

問13： (キャベツは本来冬が旬の野菜であり、冷涼な気候のもとで栽培される。そのため、気温の低い冬から春にかけて全国各地で栽培される。一方、夏秋期は平均気温が低い標高の高い高原地域や高緯度地域で栽培される。また、キャベツは重量野菜であるため、輸送費を減じるために市場である都市周辺に立地することが多い。その結果、冬から春にかけては大都市周辺の低地である愛知県、千葉県などで、夏秋は高原地域の群馬県や長野県、高緯度地域である北海道や東北地方で栽培されている。これらの事実を押さえて、論理的に説明できているかを評価した。)

【Ⅲ】

問 14 : A ① B ⑤ C ② 問 15 : A 問 16 : C

問 17 : 米

問 18 : (共働き家庭が増えて、家事にかかる時間が減少したため、既に調理してある調理食品の需要が増えた点が説明できているかで評価した。)

問 19 : A 問 20 : イ

【Ⅳ】

問 21 : b 問 22 : アマゾン川

問 23 : ④ 問 24 : い 問 25 : ウ

出題の意図

(1) 地形図や景観写真，統計資料等の読み取りを通して，基本的な地理的知識・理解の定着や資料活用能力・地理的技能の習得状況の確認を行うことを目指した。

(2) 与えられた二つ以上の資料を用いて両者の関係性を考察し，地理的事象を読み解く地理的思考力の習得状況の確認を行うことを目指した。